



理科3年

音が出るときのようにすつつたわり方、 風のはたらき 答え

月 日

音が出るときのようにすつつたわり方

☆ 音が出ているときのもののようすについて、() にあてはまる言葉をかこう。

- (1) ものから音が出るとき、ものは(ふるえて)いる。
ふるえを止めると、音は(とまる)。
- (2) トライアングルをたたく強さをかえて、音の大きさがどうなるのかを調べました。「大き」、「小さ」のあてはまるほうをかこう。
トライアングルを強くたたくと、(大き)な音が出る。また、トライアングルを弱くたたくと、(小さ)な音が出る。
大きい音はふるえが(大き)く、小さい音はふるえが(小さ)い。



☆ 音がたわるときもののようすについて、糸電話をつくって調べます。() にあてはまる言葉をかこう。

- (1) 糸電話の糸をピンとはって、話します。
話しているときに糸にそっとふれると、糸が(ふるえて)いる。
- (2) 糸電話で話しているときに、糸をつまみます。
糸をつまむと(ふるえ)が止まって、
(音(声))はつたわらなくなる。



だいしなまとめ
ものから音が出ているとき、ものは(ふるえて)いる。
大きい音は、ふるえが(大き)く、小さい音は、ふるえが(小さ)い。音がたわるとき、音をつたえているものは、ふるえている。

考え方 ☆ 1 ☆ 音が出たりつたわったりするとき、ものはふるえています。音の大きさがかわると、もののふるえ方もかわります。

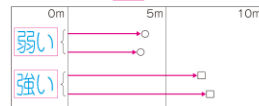
風のはたらき

☆ 風のはたらきを調べるために、下の図のような車をつくりました。次の問いに答えよう。

- (1) () にあてはまる言葉を、右の() からえらんでかこう。



- (2) 下の図は、強い風と弱い風で車を走らせたときのきりをきろくしたものです。図の() に、「強い」または「弱い」のどちらかをかこう。



○と□は、それぞれ車が止まったいち。

☆ 次の文で、正しいものには○、まちがっているものには×をかこう。

- (1) 風にはものを動かす力はない。 (1) ×
- (2) 風の強さがかわると、ものを動かす力の強さかわる。 (2) ○
- (3) 風が強いときのほうが、弱いときより、ものを遠くまで動かせる。 (3) ○

だいしなまとめ
(風)の力で、ものを動かすことが(できない・できる)。風が強くなるほど、ものを動かすはたらきが(大き)く、(小さ)くなる。

考え方 ☆ 1 (1) 風の力をりようして進む車をつくります。ほが風を受けることで、車が動きまします。☆ (3) 強い風は、ものを動かす力も強いので、ものを遠くまで動かさせます。